



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 9 日

上場会社名 ユニチカ株式会社 （コード番号：3103 東証第一部、大証第一部）

（URL <http://www.unitika.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 大西 音文

問合せ先責任者 役職名 執行役員 経理部長 氏名 村上 正利

T E L : (06)6281-5721

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）引当金の一部において簡便的な方法を採用しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結(新規)3社（除外）1社

持分法(新規)-社（除外）1社

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	154,693	0.2	7,367	3.4	5,814	25.3	1,421	12.5
16年3月期第3四半期	155,065	-	7,126	-	4,639	-	1,263	-
(参考)16年3月期	216,937		13,029		10,309		3,515	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	2.99	-
16年3月期第3四半期	2.66	-
(参考)16年3月期	7.39	-

(注) 1. 売上高、営業利益、経常利益及び四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高を除く四半期経営成績の開示は、当期より行っていますが、前年同四半期については比較の便宜を図るため記載しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

本年度第3四半期(平成16年4月1日～平成16年12月31日)のわが国経済は、堅調な輸出や民間設備投資の伸びを背景に、景気は回復基調で推移してきましたが、下期に入りデジタル家電分野の在庫調整が表面化するなど、再び先行きに不透明感が出てまいりました。また、当社グループを取り巻く環境につきましても、石化原料の価格が期初より高騰を続ける厳しい状況が続いております。

このような情勢の下で、当社グループは、今年度で2年目となる中期経営計画「飛躍05」に基づき、高分子事業を中心とした収益強化施策や原価部門におけるコストダウン施策の推進に努めました。また、石化原料の価格高騰に対応するため、高分子事業、合成繊維事業において製品価格の改定を進めることにも取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期の売上高は154,693百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は7,367百万円(前年同期比3.4%増)、経常利益は5,814百万円(前年同期比25.3%増)、四半期純利益は1,421百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

事業別の概況は次の通りです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装用フィルムの需要期に相俟って、ナイロンフィルム及びポリエステルフィルムとも上期に引き続き売上を伸ばしました。また、樹脂事業では、ナイロン樹脂、Uポリマー樹脂が自動車分野や精密機器分野において順調に推移しました。

【環境・機能材事業】

環境事業の需要は公共工事削減のあおりを受け依然低迷しており、高度水処理施設などの受注は獲得したものの事業全体では厳しい収益状況が続きました。また機能材事業では、ガラス関連で反射材用途などのガラスビーズが輸入品の影響を受け伸び悩みましたが、ICクロスが上期に続き好調さを維持しました。

【繊維事業】

合成繊維事業では、引き続きコストダウンと製品価格の改定に努め収益改善に取り組みましたが、衣料分野でのポリエステル長繊維需要が減少傾向を示すなど、厳しい状況が続きました。

一方、天然繊維事業では、コストダウンへの取り組みとユニフォーム分野の販売が堅調に推移しましたが、冬物衣料の販売が暖冬の影響から伸び悩みました。

【生活健康・その他事業】

ハナビタラケ健康補助食品「白幻鳳凰」は、広告宣伝を重視した積極的な販売活動を継続した結果、計画を上回るペースで販売を伸ばしました。また「こんにやくセラミド」についても、食品・飲料メーカーへの販売に加え、健康・美容サプリメント「ピュアセラミド」を新たに上市しました。なお、マンション販売やその他の事業はおおむね計画どおりに推移しました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	344,759	26,724	7.8	56.18
16年3月期第3四半期	360,649	22,326	6.2	46.92
(参考)16年3月期	347,349	25,498	7.3	53.59

(注) 四半期財政状態の開示は、当期より行っていますが、前年同四半期については比較の便宜を図るため記載しております。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ2,589百万円減少し、344,759百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

株主資本は、前期末に比べ1,225百万円増加し、26,724百万円となりました。これは主として四半期純利益1,421百万円によるものであります。

(参考)

平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	225,000	11,000	4,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 8 円 41 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は、当初の予想どおり推移しており、業績予想の修正はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、セグメント情報

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第3四半期末 (16.12.31現在)	前連結会計年度末 (16.3.31現在)	増減
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	19,719	23,402	3,683
受取手形及び売掛金	53,950	58,327	4,376
たな卸資産	56,440	52,345	4,095
その他の	8,999	11,780	2,781
流動資産合計	139,110	145,856	6,745
固定資産			
有形固定資産	171,000	168,790	2,210
無形固定資産	802	898	95
投資その他の資産	33,845	31,804	2,041
固定資産合計	205,648	201,492	4,156
資産合計	344,759	347,349	2,589
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	38,923	35,010	3,913
短期有利子負債	120,362	116,808	3,554
その他の	25,307	31,483	6,175
流動負債合計	184,593	183,301	1,291
固定負債			
長期有利子負債	93,399	99,199	5,800
退職給付引当金	7,995	8,409	414
その他の	27,660	27,236	424
固定負債合計	129,055	134,845	5,790
負債合計	313,648	318,147	4,498
(少数株主持分)			
少数株主持分	4,386	3,703	682
(資本の部)			
資本金	23,798	23,798	-
資本剰余金	1,661	1,661	-
利益剰余金	1,139	6,546	7,685
土地再評価差額金	1,289	7,322	6,033
その他有価証券評価差額金	1,017	1,197	179
為替換算調整勘定	2,161	1,922	239
自己株式	20	12	7
資本合計	26,724	25,498	1,225
負債、少数株主持分及び資本合計	344,759	347,349	2,589

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第3四半期 (16.4.1～16.12.31)	前連結会計年度 (15.4.1～16.3.31)
売上高	154,693	216,937
売上原価	122,827	170,466
売上総利益	31,865	46,471
販売費及び一般管理費	24,498	33,442
営業利益	7,367	13,029
営業外収益		
受取利息・配当金	244	238
その他の	2,083	2,454
営業外収益計	2,327	2,693
営業外費用		
支払利息	2,781	4,029
持分法による投資損失	203	72
その他の	896	1,311
営業外費用計	3,881	5,413
経常利益	5,814	10,309
特別利益		255
特別損失	3,006	5,570
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,807	4,993
税金費用	1,235	1,239
少数株主利益	151	237
四半期(当期)純利益	1,421	3,515

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期（16.4.1～16.12.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
・売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	46,201	16,856	76,370	15,264	154,693	-	154,693
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,500	301	249	2,231	5,283	(5,283)	-
計	48,702	17,158	76,619	17,496	159,976	(5,283)	154,693
・営業費用	42,836	16,445	74,943	16,278	150,504	(3,178)	147,326
営業利益	5,865	712	1,676	1,218	9,472	(2,104)	7,367

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は2,161百万円であります。

（参考）前連結会計年度（15.4.1～16.3.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
・売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	57,612	29,841	107,681	21,802	216,937	-	216,937
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,257	346	332	2,524	6,461	(6,461)	-
計	60,869	30,188	108,013	24,327	223,398	(6,461)	216,937
・営業費用	52,025	27,800	104,534	22,742	207,102	(3,194)	203,908
営業利益	8,844	2,388	3,479	1,584	16,296	(3,266)	13,029

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は3,363百万円であります。